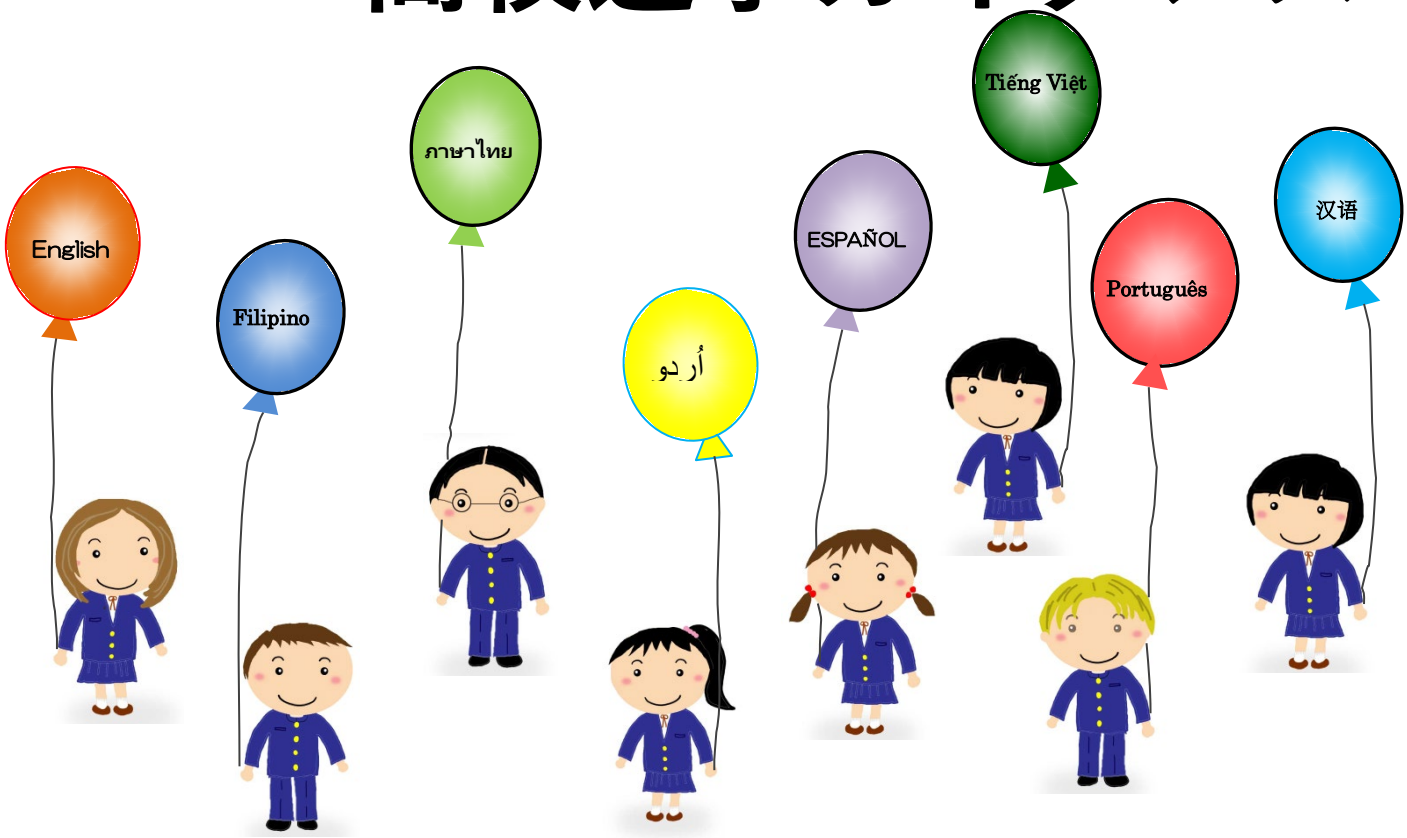
日本語版

とちぎけんばん
栃木県版
2026

多言語による
高校進学ガイダンス



うつのみやだいがく ハ ン ズ じぎょう
宇都宮大学HANDS事業

多言語(たげんご)による高校進学(こうこうしんがく)ガイダンス

1. 日本(にほん)の学校(がっこう)のしくみ

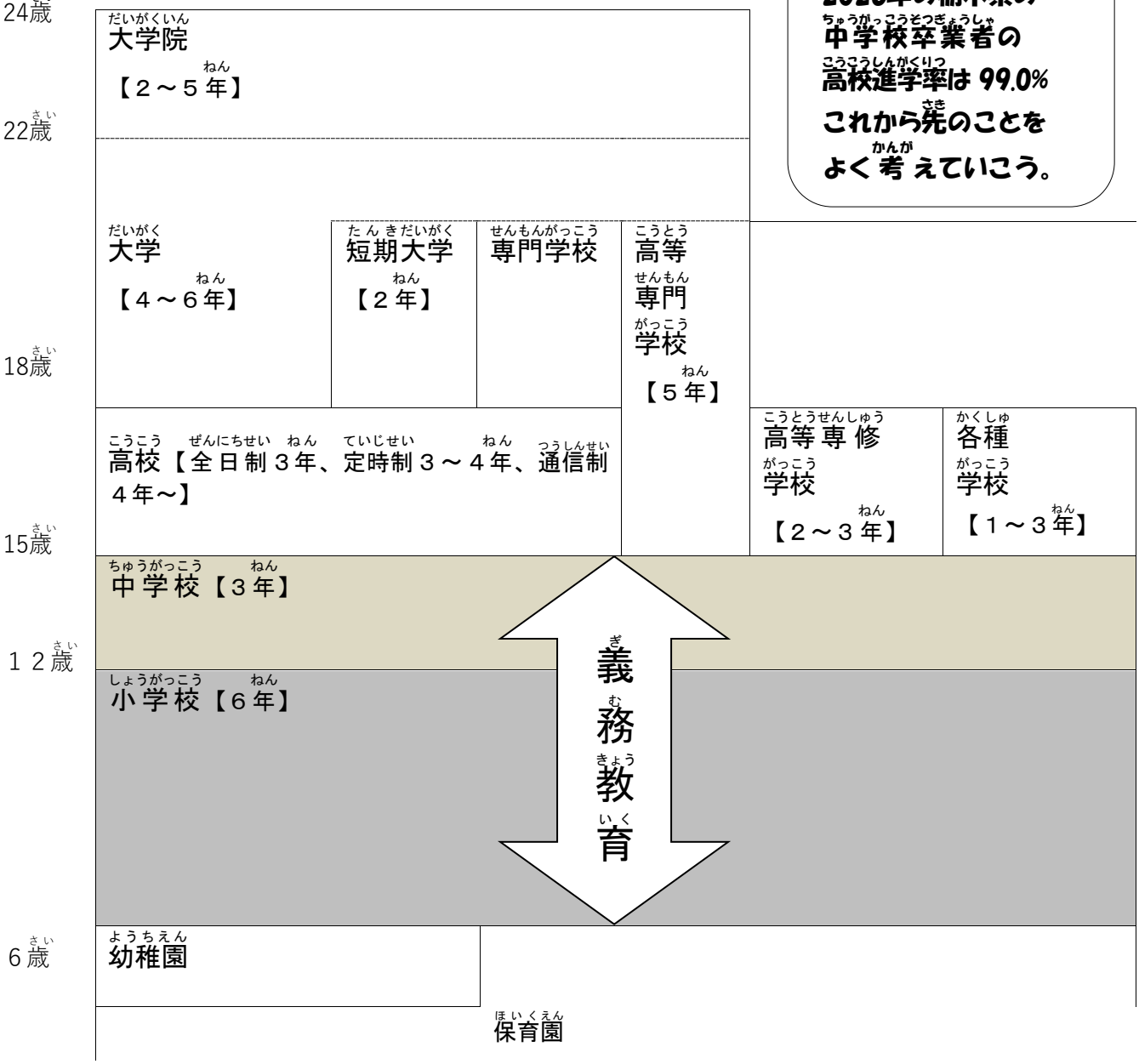
2. 栃木県(とちぎけん)の高校(こうこう)

3. 学費(がくひ)について

4. 入学試験(にゅうがくしけん)について

1．日本の学校のしくみ

2026年の栃木県の中学校卒業者の高校進学率は 99.0%
これから先のことをよく考えていこう。



☺小・中学校と高校のちがい

小・中学校は義務教育ですが、高校は義務教育ではないので、高校に入るためには入学試験を受けなければなりません。高校では、成績が悪かったり欠席が多かったりすると進級や卒業ができなくなる場合があります。

☺高校を卒業すると…

大学・短期大学や専門学校に入学するための試験が受けられます。
ほとんどの企業が高校を卒業することを採用条件にしているので、中学卒業より就職の幅が広がります。高校3年間で資格をとることや自分の適性について考えることが大切です。

2．栃木県の高校

公立高校と私立高校があります。公立高校には、全日制・定時制と通信制があります。
高校の学科には、大きく分けて　普通科・専門学科・総合学科があります。

（1）全日制・定時制・通信制について（県立高校の例）

	全日制（54校）	定時制（7校）		通信制（2校）
通学日 授業時間	毎日（月～金） 45～50分授業、6～7時限	毎日（午後から夜間*） 45分授業、4～6時限	毎日（月～金）フレックスハイスクール 午前・午後・夜間の3部制それぞれ45分授業、4～6時限	自主学習のレポートを提出し、添削指導を受ける。月に数回、登校して学習します。
卒業までの基本的年数	3年	3年以上		
学科（次ページ参照）	普通科 専門学科 総合学科	普通科 専門学科「工業」「商業」のみ	普通科	普通科
その他		給食あり	夜間部のみ給食あり	

＊午前から授業を行う定時制課程もある（鹿沼華陵高校）

☺ 学校・学科を選ぶときのポイント

（1）自分の興味・関心、能力・適性、性格について考え、自分自身の可能性を探る。
（2）将来、自分がどんな職業につきたいか、どんな職業についたらよいかを考える。
（3）高校で何を学びたいのか考える。
（4）自分の希望する学校や学科の特色や学習内容を調べる。
（5）高校を卒業したあとどんな進路があるか調べる。

☺ 進路を考えるときは

まず、自分で考え、保護者と話し合い、先生と相談して決めよう！
夏休み・2学期からの一日体験学習や学校説明会（特に私立高校）を利用して必要な情報をあつめよう！　私立高校の場合は、自分で事前にインターネットで申し込んだり、中学校に申し出たりします。

（2）栃木県の公立高校における各学科の特色について

普通科		学習の中心が共通教科に置かれている。多くの普通科では、2年生から文系・理系あるいは様々なコースに分かれる。
専門学科	商業に関する学科	主に、会計帳簿の作成、ビジネスに必要なパソコン操作や英会話、商品流通のしくみなどを学ぶ。
	工業に関する学科	機械、電気、建築、コンピュータプログラミングなどの分野がある。これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	農業に関する学科	農業経営、生物工学、食品化学、農業土木、園芸などの分野がある。これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	水産に関する学科	魚類やその他の水産生物の増養殖技術、水産物の加工、流通を学ぶ。県内には馬頭高校1校のみ。
	家庭に関する学科	服飾デザイン、生活設計、食物文化、栄養食物、生活文化などの分野がある。これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	福祉に関する学科	介護技術や社会福祉制度などが学べる。
	理数に関する学科	数学や理科を専門的に学べる。県内には小山高校1校のみ（学科に分かれるのは２年生から）。
	体育に関する学科	スポーツについての専門知識を学ぶとともに、専攻実技や指定運動部で実際に実技を学べる。県内には小山南高校1校のみ。
総合学科		単位制授業で、興味・関心に応じてコースを選択し、授業を選ぶ。

☺専門学科の多くでは、それぞれの学科の学習に合わせて資格の取得を目指します。

☺高校での授業は、日本語で行われます。特別な対応は、ほとんどありません。

☺栃木県の公立高校では学校の統合や学科の変更などが進められています。あなたの住んでいる地域の高校に関する詳しいことや最新の情報は中学校の先生に教えてもらいましょう。

☺私立高校の学科や内容については、各私立高校のパンフレットで確認しましょう。通信制や定時制のある私立高校もあります。

次のページも見てね！

（3）普通科・専門学科・総合学科で学ぶ教科や科目について

普通科

国語
地理歴史
公民
数学
理科
保健体育
芸術
英語
家庭
情報

共通教科

専門学科

自分の勉強したい専門学科のある高校に入学します

国語
地理・歴史
公民
数学
理科
保健体育
芸術
英語
家庭
情報

共通教科（共通して学ぶ科目）

商業
工業
農業
水産
家庭
福祉
理数
体育
課題研究
（自分が興味のあるものの研究ができます）

専門に関する教科・科目

総合学科

【科目の例】
国語総合
現代社会
数学Ⅰ
体育
英語Ⅰ　など

必修科目・原則履修科目

産業社会と人間

【選択科目の例】

「文理総合系列」
応用数学
実践英語など

「数理科学系列」
実験科学
応用生物など

「人文国際系列」
古典講読
異文化理解など

「環境生活系列」
服飾文化
家庭看護・福祉
など

「情報ぶんかけいれつ」

選択科目

3．学費について

（1）入学するための費用

公立高校と私立高校は費用の面で大きな違いがあります。

	公立高校			私立高校
課程	全日制	定時制（単位制）	通信制（単位制）	全日制（例）
入学検定料	2,200円	950円	なし	12,000円～25,000円
入学金	5,650 円	2,100 円	500 円	100,000 円～220,000 円
制服・体育着など	40,000 円～60,000 円	15,000～	なし	70,000 円～150,000 円
施設拡充費	なし	なし	なし	100,000 円～
およその合計	50,000 円～	18,000～	500 円	300,000 円～

私立高校などは、学校によってそれぞれの費用がちがいますので、詳しいことや最新の情報は学校のパンフレットをよく見てください。

特に学校の制服に関しては、公立高校も私立高校も学校によって費用は大きく異なります。

（2）入学してから１年間にかかる費用

	公立高校			私立高校
	全日制	定時制（単位制）	通信制（単位制）	（全日制）
授業料	9,900 円／月（全日制の場合） ※２			300,000 円～ ※２
教科書・教材費	10,000円～70,000円（学校・学科によって異なります。）			
諸費 ※１	130,000 円～	30,000 円～	10,000円程度	250,000 円～
給食費	なし	学校による	なし	なし

※１ 諸費とは、PTA会費、生徒会費などで、集める項目は学校によって異なります。他に、修学旅行費などもあります。たいてい１年生から積み立てがはじまります。専門学科は、年間数万円の実習費がかかります。

※２ 高等学校等就学支援金という国からの支援があります。公立高校は年額118,800円、私立高校などは年額457,200円まで授業料の支援を受けることができます。

（３）その他にかかる費用について

＊部活動費　部活動に入った場合、ユニフォーム、試合や大会参加などの費用がかかります。

＊交通費

自宅から遠く離れた学校に通う場合、公共交通機関を利用します。例えば電車通学の場合、定期券代が必要となります。

（４）学費の支払いが困難な場合

＊奨学金制度の利用

高校に在学する生徒で勉学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な生徒に対して修学資金を貸してくれる制度があります。

奨学金には、政府、自治体あるいは民間のものなどいろいろな種類の奨学金があります。　お金を返さなくてもいいものもあれば、社会人になったらお金を返さなければいけないものもあります。いずれの奨学金も受けられるか否かは生徒自身の学業成績や家庭の経済状況などによります。また、申請するためにはいくつかの書類をそろえなくてはなりません。奨学金制度の利用を希望するかたは、中学校の先生または入学先の高校の先生に相談してください。

☺ 高校に入学したら…

義務教育の小中学校とは違って、高校は一度学校をやめたら戻れません。簡単にやめないで、何か困ったことがあったら、担任の先生や中学校のときの先生などに相談しましょう。

☺ 入学試験を受ける手続き（インターネット出願や、受検料の準備など）はそれぞれの中学校で示されます。提出日までに準備しましょう。

また、ほとんどの栃木県内の私立高校では、インターネットで受験の手続きをします。あなたの受験する高校の手続き方法については、早めに学校の先生に教えてもらいましょう。

4. 入学試験について

（1）栃木県立高校の入学試験のタイプ

	受検資格	試験内容
一般選抜	日本の中学校卒業（見込み）、外国で９年間の学校教育を受けた人など。	① 学力検査（５教科） ② 調査書（学習の成績、部活での活躍など） この他に実技検査を行うこともあります。
特色選抜	日本の中学校卒業（見込み）、外国で９年間の学校教育を受けた人などで、志願する高等学校が示す資格要件にあてはまる人。	① 学力検査（５教科） ② 調査書 ③ 自己表現シート ④ 学校独自検査（面接、作文、プレゼンテーションなど）
外国人等の特別措置	入国後の在留期間が通算して６年以内。	① 学力検査（数学、英語） ② 調査書 ③ 志願理由書 ④ 面接試験 この他に作文、国語の学校独自検査を行うこともあります。

※ 外国人等の特別措置で県立高校の受検を希望する場合、担任の先生とよく相談してください。

公立高校と私立高校では、入学試験においていくつかの大きな違いがあります。

<table>
<tr><td>公立高校</td><td colspan="2">全日制・定時制高校は１校しか受検できません（受検日が同じ日です）。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">私立高校

☆高校によって、試験の種類・名前や方法がちがいます</td><td colspan="2">何校でも受験できます（受験日が学校によって違います）。</td></tr>
<tr><td>単願</td><td>合格したらその学校に必ず入学することを約束して受験する方法です。合格したあとで、他の高校を受けることはできません。</td></tr>
<tr><td>併願</td><td>合格してもその学校に入学することを約束しない形で受験する方法です。公立高校も受検することができます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">＊運動や学習において特に優れた実績を有している場合は、特待生受験が出来る場合があります。特待生受験は一般的に単願です（合格すると</td></tr>
</table>

	授業料などの一部または全額が免除となります)。

(2)栃木県立高校と栃木県内私立高校の入学試験までのスケジュール (2026～2027)

	日程
11月	3者面談で志望校(受験校)の相談
12月	②私立高校一般入試 ・願書提出　11月～
1月	・入試　1月～2月 ・合格発表 (学校により二次募集あり)
2月	③公立高校全日制一般・特色選抜 ④公立高校定時制一般・フレックス特別選抜 ・出願　(1月29日～2月8日) ・学力検査　(24日) ・全日制特色選抜：学校独自検査　(25～26日) ・定時制一般選抜：面接　(25～26日) ・定時制フレックス特別選抜：面接・作文　(24～26日)
3月	・合格者発表(12日) ⑤公立高校通信制 ・願書等提出(12日～19日) ・面接(25日か26日) ・合格者発表(29日)

☺ 学校の先生やお父さん、お母さんとよく相談しよう

①私立高校推薦入試
・願書提出　11月～
・入試　1月がほとんど
・合格発表

1)「外国人等の特別措置」の申請期間：9月14日(月)～10月13日(火)15:00
※これ以降は、できるだけ早く中学校を通して栃木県教育委員会に相談してください。

２）通信制課程の入学者選抜は2月実施もあります。その場合には、全日制・定時制との併願はできません。

３）この他に、再募集や追試験もあります。